

役者追悼式会場で堂々と「正論」として発言すべきだったのではないか。

同じ考えを持つ集団のみに自分の考えを主張する。そこには異なる人々、集団への視点が欠けている。

平和の礎に刻まれた名則を一字一字、指先でなでるように涙をこぼしていた高齢者の姿が沖縄戦の真実だろう。その姿を西田議員はどのような思いで見ているか。

こだま



〈ジャーマンカモミール〉

浜田 道子 79

(福岡市東区)

たのか。

自らの意見が正論というのなら、その場に立つて同様に繰り返すべきだった。そこに政治家の真の責任があるというものだ。

(北九州市小倉南区)

走ることの夢

追い続けたい

匂坂裕一郎 42

今年42歳になった。20代、30代があつという間に過ぎたように、年を重ねると1年が早い。私の趣味、特技

は走ることで小学生の頃から続けている。中長距離走が専門で33年後、75歳になった時、その年代クラスでのメダル獲得を目標にしている。

今狙うのは今秋、福岡市で開かれる全日本マスターズ陸上大会の1500メートル。トラックスの格闘技と呼ばれ欧州では人気のある種目。スパイクを履いて走るかっこよさもある。私は

夢を追い続けていきたい。
(大分県中津市・中学校教諭)

子育て悩む親 社会で支援を

奥永 純子 49

お母さん、お父さん、もし子育てに困難を感じているなら今すぐSOSを発信してください。独りで子育ての困難を抱え込まないで、周囲に助けを求めてください。きっとあなたの思いを受け止めてくださる方がいるはずです。

私は5人の子を育てています。決して褒められるような理想の子育てはできていません。子どもの言動に一喜一憂し、なぜ親の期待通りの言動をしないのか、どうしたら思い描いた憧れの子育てができるのか悩み、考え続けています。

最近思うことは、子どもは一人の人間であり、自分の考えや気持ちを持つていてのことです。親はそれを尊重しなければならぬということ。子どもにとつての最善を尽くし、同様に親も大切な存在として社会全体で支援してほしいと思います。

(福岡県那珂川市・公務員)

鹿兒島の店で

消えた「豚骨」

久貝 宏司 67

久しぶりに鹿兒島を訪ね、50年以上前に立ち寄った郷土料理の店で忘れられない味の「豚骨(トンコツ)」